

ありがとうの灯中

学校便り第15号
令和7年6月17日
福井市灯明寺中学校



あなたは今、何を大切に生活していますか？自分ですか？友達ですか？家族ですか？家で飼っている可愛いペットですか？おそらく中には、「生あるもの」ではなく、誕生日にプレゼントされた品であったり、自分の心の支えとなる本であったり、「物」の場合もあるかもしれません。また、ファッション（お洒落）など「形」を大事にしている人もいるでしょう。いずれにしても、人は「大切なもの」があるから、「守るべきもの」があるからこそ、頑張れると思います。私たちは「心の支え」があるからこそ、前を向くことができると思います。

令和7年度になって、約2ヶ月が過ぎましたが、人としてとても残念なことが次々と起きています。相手が嫌がる言葉や態度を平気で言ったり示したり、人を暴力で傷つけたり、いじめという最低なやり方で人の心を傷つけたり、交通マナーを破り大変危険な行為をして運転手の方を困らせたり（逆に運転手をにらみつけた人もいるとのこと）、本当にそうした皆さんの残念な姿を耳にする度に、人を育てる仕事に従事している者として、とても悲しい思いと世の中に対して申し訳ない気持ちで一杯になります。そして、責任を痛感します。

また、明らかに昨年度と比べて、「挨拶」が低下している感が否めません。私は校長として今年で2年目ですが、昨年春（年度当初）は、あまり良くなかった「挨拶」が、日増しにどんどん良くなっていく姿がありました。生活委員会を中心として、3年生が「本物の姿」をお手本のように示してくれて、そして、後輩たちがそれを真似して、どんどんと校内に「本物」が広がる姿を感じることができました。朝玄関に立ちながら、その明らかな『変容』を見取れることがとても嬉しく、灯中生に「誇り」を感じることができました。

しかしです。今年に入ってから、昨年度感じることはできなかったはずの「本物」を感じることができません。なぜでしょう？なぜ、2・3年生は知っている（体感している）はずなのに、築きあげた『灯中プライド』を継続できないのでしょうか？それは、灯中で教育が至らないためなのか？？また、他に学校として大きく欠落していることがあるのか？？正直日々自問自答する、悩む日が続いています。もし良ければ、教えてください。

先日ある国が敵対する国に大量のミサイルを発射しました。当然、多くの人の尊い命が失われることが分かっているのです。そして、ミサイルを撃ち込まれた国は、報復として「仕返し」をしました。なぜ人は、いつまでもこの愚かな戦争を繰り返すのでしょうか。なぜ人は、学んだことを忘れるのでしょうか。本当に心から失望しますし悲嘆します。『ありがとうの灯中』の皆さんに理解してほしいのは、「考え方」や「信念」といった「想い」や「心」をぜひ一番大事にして生きてほしいです。 福井市灯明寺中学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

<第73回福井市連合音楽会♪>

6月10日（火）の午後、通算今年で73回目となる福井市連合音楽会が行われました。灯中は第2部最後のステージでしたが、まさに魂と気迫が感じられる圧巻の歌声を披露しました。その歌声は、会場にいた多くの聴衆を魅了し、一番大きな拍手だったように感じました。努力が報われた瞬間でした！



<避難訓練(地震対応)>



6月12日（木）の5時間目に、大地震後に火災発生を想定した避難訓練を行いました。今回の訓練ではより「リアル感」を求め、マニュアルもなし、予告もなし、校長&教頭が対応できない状況に陥る、防火扉が閉まってしまう、そして、避難中に再度大地震が起きるという様々な取組（工夫）をしました。結果、臨場感が生まれ、意義あるものとなりました。